

令和元年度 生徒・保護者による学校評価報告

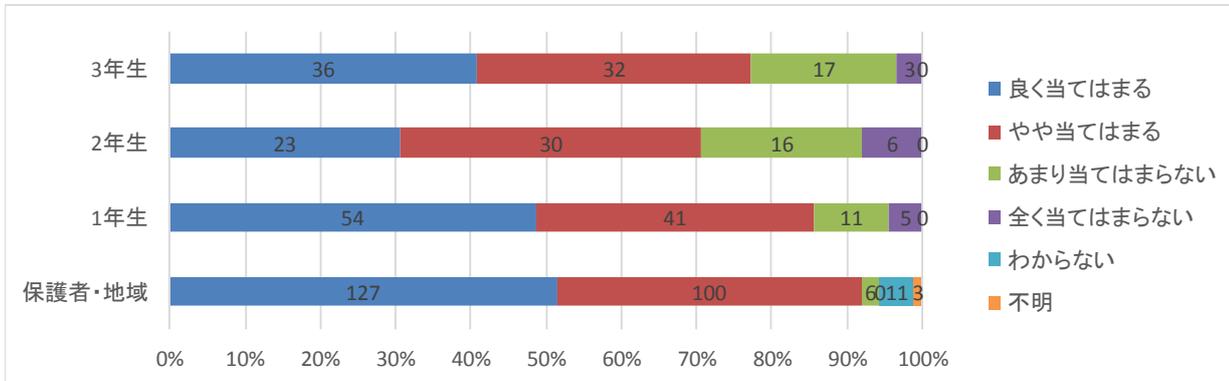
本年7月に、生徒、保護者、地域協働学校運営委員による学校評価アンケートを実施しました。その集計を受け、学習指導や生活指導などに関して、今後の改善の参考とさせていただきます。

I 主な設問（区共通：1から5、学校独自：6，7）の集計から

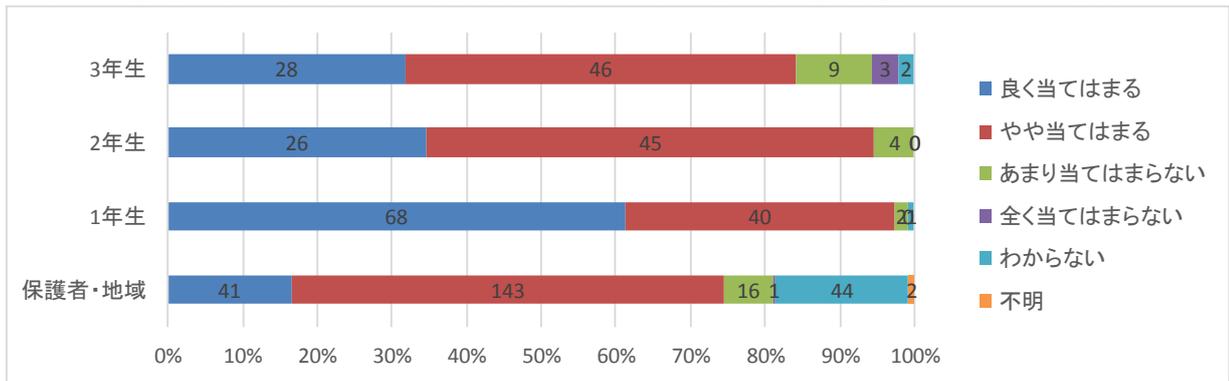
「区共通」と「学校独自」の学校生活の基本と考えている「学校のきまりについて」、生徒・保護者共に関心の高い「部活動について」の計7設問の集計です。グラフ内の数値は回答者数となっております。

（回答数：1年生＝111人、2年生＝75人、3年生＝111人、保護者・地域＝247人）

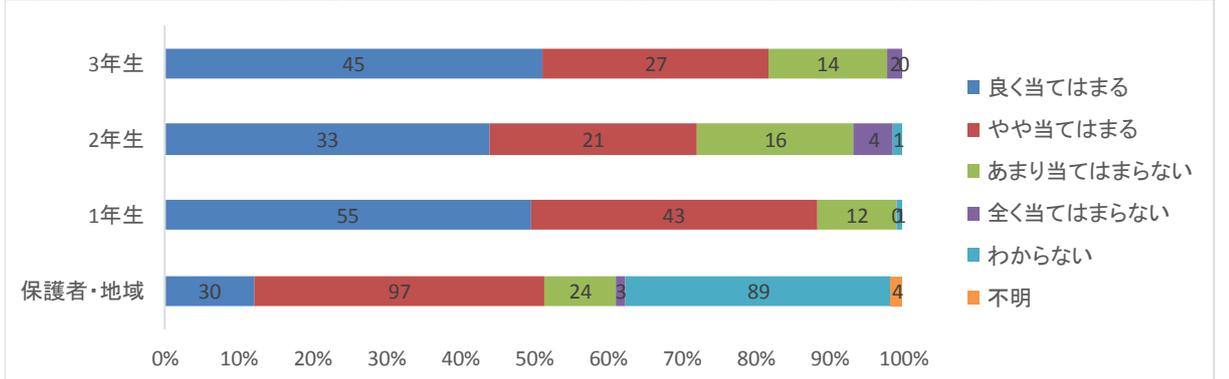
**1. いじめ等の問題があるときには、すぐに先生に相談することができる(と思う)。
（子どもにいじめやいじめの疑いがあるときには学校に相談することができる(と思う)。）**



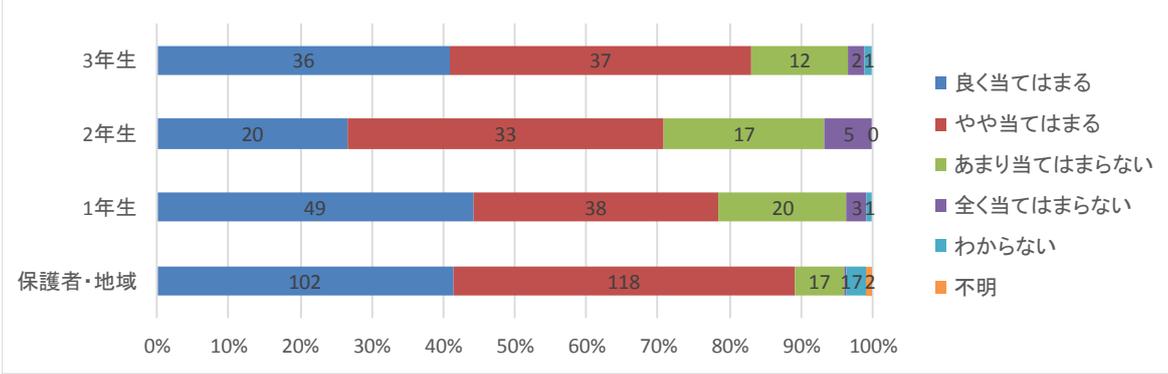
2. 先生の授業はわかりやすいと思う。(学校の先生はわかりやすい授業を行っていると思う。)



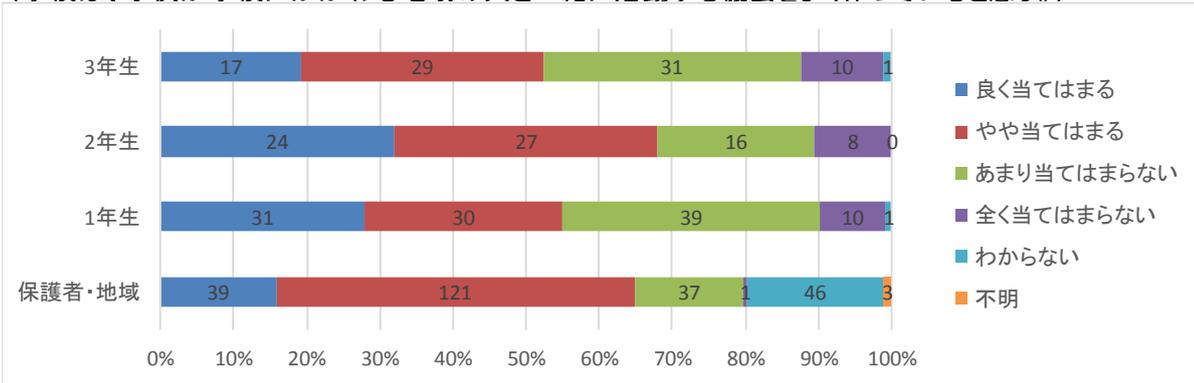
**3. タブレットPCなどを使って「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業が好きだ。
（学校は、タブレットPCなどを使って、子どもが「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業をよく行っていると思う）**



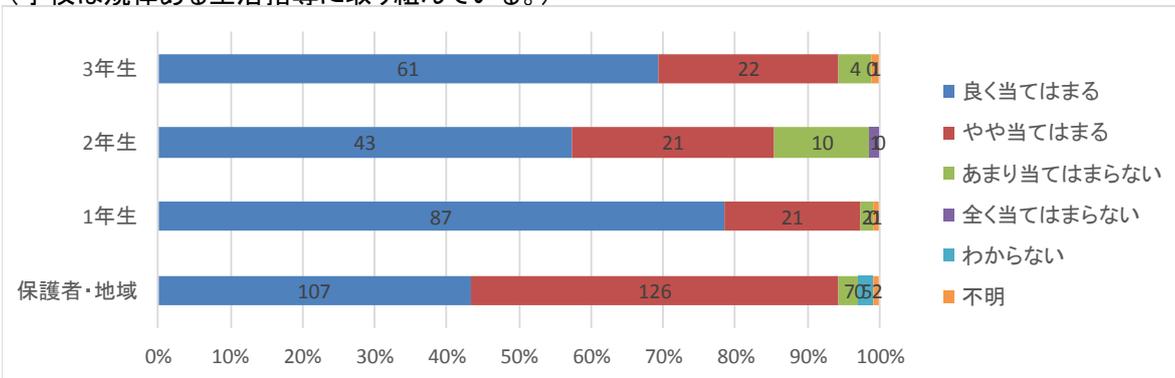
4. 学校での授業や行事のことなどについて、家の人に自分から話している。
 (学校は、日頃の教育活動の様子などについて、保護者会や学校だより等でわかりやすく伝えていていると思う。)



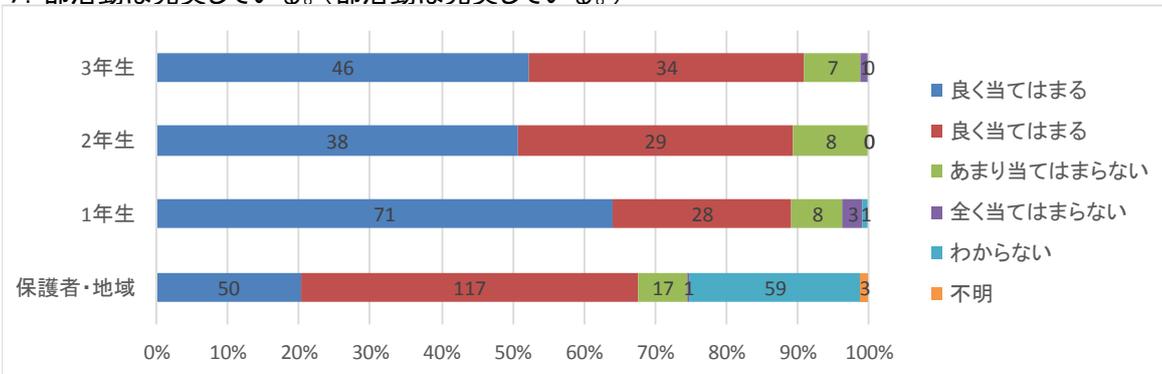
5. 学校にかかわる地域の人から様々なことを教わったり、一緒に活動したりしたことがある。
 (学校は、子供が学校にかかわる地域の人と一緒に活動する機会をよく作っていると思う。)



6. 私は学校のきまり(頭髪、服装、時間、学校生活全般)を守っている。
 (学校は規律ある生活指導に取り組んでいる。)



7. 部活動は充実している。(部活動は充実している。)



上記集計から、生徒、保護者・地域共に設問5を除き、7割以上が肯定的な回答でした。
 しかし、設問5の地域との活動に関することについては、生徒、保護者・地域共に肯定的な回答が7割未満でした。

II 主な設問と他の設問を含めての集計から

主な設問と他の設問で共通する内容ごとに整理し、それらから見えてくる成果と課題、解決策や方向性などをまとめました。(表中の斜体強調文字で表されている文章が区共通設問です)

1. 学習指導に関する内容について

「先生の授業はわかりやすいと思う」という設問に対して、肯定的な意見を答えた生徒が1年生97%、2年生94%、3年生84%、「授業に集中して取り組んでいる」という設問に対しても、1年生は93%、2年生86%、3年生84%と肯定的な意見が多い。また、「タブレットPCなどを使って「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業は好きだ

	1年	2年	3年
授業が分かりやすい	97.3	94.7	84.1
授業に集中して取り組んでいる	93.7	86.7	84.1
PCなどを使う授業は好きだ	88.2	72.0	81.8
進路についての情報をくれる	57.6	76.0	91.0
家庭学習に取り組んでいる	78.3	52.0	69.3

と感じている生徒は全体の82%と高い数値です。新宿区で導入されたタブレットPC、電子黒板機能付きプロジェクタ、実物投影機などを授業で教師と生徒が使っている成果だと言えます。教師は説明を視覚的に行うことができ、生徒は発表、プレゼンテーションを行うことでアウトプット能力を高めることができます。引き続き、生徒が多くの場合でタブレットPCなどのICT機器を活用する授業の工夫改善を行います。

進路指導に関する設問では、「学校は進路について情報をよく知らせてくれ、進路の相談にのってくれる」において、学年が上がるにつれて肯定的な意見が増えています。本校では進路指導を進学指導だけでなく生き方指導として捉えています。そのため、職業に関する学習を1年生の時から行っています。中学校卒業後の進路については、上級学校進学を視野に入れた進学指導を丁寧に行っています。今後も進路指導の目的や意義など中学校3年間を見通して、生徒、保護者にしっかり伝える進路指導を行っていきます。

家庭学習に関する設問では、昨年度と比べ、3年生が58.7%から69.3%に、2年生が50.7%から52%に上がっています。さらなる定着ができるよう、昨年度までの取り組みに加えて今年度は「家庭学習の手引き」を作成しました。「家庭学習と言われても何をすればいいかわからない」という状況をなくすことが目的です。引き続き授業改善を行うとともに、この手引きの活用を授業などで促しますので、ご家庭のご協力をお願いします。

2. 生活指導に関する内容について

設問1の「いじめ等の問題があるときには、すぐに先生に相談できる」(生徒)「子どもにいじめやいじめの疑いがあるときには学校に相談することができる」(保護者)に対しては、生徒は全体として8

	1年	2年	3年
先生や友人に挨拶をしている	94.6	96.0	98.9
学校の決まりを守っている	97.3	85.3	94.3
先生たちは悩みを聞いてくれる	96.4	81.3	85.3

割が肯定的でした。また、保護者は、昨年の77.5%から91.9%に上がっています。生徒には「先生たちは悩みを聞いてくれる」という設問もしていますが、全体の88%が肯定的でした。これは学校経営方針にもある「安全で安心して学べる環境を確保」がされてきていると言えます。以前から続けている毎日の学活ノートチェックや「自分を見つめて」「ふれあいアンケート」などを通じてアンテナを高くして、人間関係や、理想と現実のギャップに悩むことの多い中学生のトラブルを抱える生徒の実態を逃さぬようにし、問題を感じた時には迅速で丁寧な指導を心がけています。この信頼に応えるために、引き続ききめ細かな対応を行っていきます。

3. 部活動に関する内容について

「部活動は充実している」とする生徒・保護者は年々増加しています。3年生は81.5%から91.1%、2年生は86.1%から89.3%、保護者は59.1%から70%に上がりました。保護者は「分からない」と回答した人数を抜くと88.9%が肯定的に受け止めています。部活動説明会等で機会あるごとに「部活動は教育課程には位置づけられていないものの、教育活動の一環であり、教員の理解と支援によって行われています。本校では、体力や技能の向上とともに、生徒の居場所づくり、絆づくりを目指している」という部活動に対する学校としての姿勢を打ち出してきましたが、本校の姿勢について保護者の理解が深まった結果であると考えます。要望として、新たな部活の新設や以前あった部活の復活を願う声もありますが、現在の生徒数を鑑みると現行の10部活が各部活の活動を保障するに見合った数であると考えています。引き続き、より良い部活動運営を目指していきます。

4. 開かれた学校に関する内容について

以前より「わからない」という回答が多いことが保護者アンケートの課題でした。そのため、学校公開を行い落合二中の実情を見てもらい機会を増やしたり、家庭で学校のことを話題に挙げられるような生徒と保護者の会話を増やす学校づくりを意識し、進めてきました。また、学校だよりや学年だよりを定期的に発行し、ホームページも適時更新してきました。その結果、生徒に対する設問4「学校での授業や行事のことなどについて、家の人に自分から話している」では、肯定的な意見は全体の78%であった。生徒は学校のことを家庭で話題にしているという意識が高くなっています。

また、保護者アンケートでは授業の内容に関する設問(「学校はタブレットPCなどを使って、子どもが「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業をよく行っていると思う」、「学校は進路情報を適切に提供した進路指導を行っている」、「学校は授業を大切にし、授業改善に取り組んでいる」、「学校は道徳の授業や毎日の生活の中で、心を育てる教育を推進している」)で20%以上が「わからない」と答えています。しかし、数年前は約40%の保護者が「わからない」と回答していた設問もあったので、以前に比べると「わからない」という回答は減ってきています。今後は、保護者・地域に向けて本校の教育活動について、ホームページの更新やレイアウトなどを工夫することで分かりやすい情報公開に努めていきます。

地域との活動に関する質問では、肯定的な意見が50~70%とあまり多くありません。学校と地域が協働して行っている取組みにはまず、1年生の避難所開設訓練があります。また、3年生の染物体験の講師や実用英語技能検定試験(英検)の監督など、地域協力者の支援のもとで行っています。本校の生徒が町内会や育成会で開催するスポーツ大会やイベントの運営に係る、あるいは出演するといった協力も半ば定例化してきています。これからも地域の方々と行う行事などを大切にすることで生徒に地域の一員としての自覚を促し、自主的に地域行事に参加しようとする心情を育てていくと共に「開かれた学校づくり」、「地域のコミュニティーセンターの役割をする学校づくり」を進めていきます。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には、学校評価アンケートにご理解とご協力をいただきましたこと感謝申し上げます。なお、保護者の皆様からいただいた自由意見については、後日改めて報告いたします。

学校評価アンケートの集計結果(生徒全22設問、保護者・地域全23設問)については、本校ホームページをご覧ください。